

奈良県立高等学校入学者選抜検討委員会について

1. 目的 望ましい入学者選抜の在り方について検討するため、奈良県立高等学校入学者選抜検討委員会を設置する。

2. スケジュール

- 令和3年10月 委員会設置
- 令和4年 9月 中間とりまとめ公表、意見募集
- 令和5年 3月 最終とりまとめ公表

3. 委員（令和3年10月15日時点）

| 氏名 | 所属・役職 | 備考 |
|-------------------|---|---------------------------|
| こまつ いくお 小松 郁夫 | 京都大学特任教授、文部科学省初等中等教育局視学委員、国立教育政策研究所名誉所員 | 学識経験者 (学校経営、比較教育、教育行政) |
| あかさわ はやと 赤沢 早人 | 奈良教育大学教授 | 学識経験者 (教育方法、教育課程論) |
| うえだ よういち 上田 陽一 | 桜井市教育委員会教育長 | 県都市教育長協議会会長 |
| こたに たかお 小谷 隆男 | 下市町教育委員会教育長 | 県町村教育長会会長 |
| はるやま まみ 春山 真美 | 県PTA協議会会長 | 児童生徒保護者 |
| よしだ こういち 吉田 浩一 | 県立香芝高等学校長 | 県高等学校長協会会長 |
| ふかせ しげお 深瀬 重雄 | 生駒市立鹿ノ台中学校長 | 県中学校長会会長 |
| もりなが あきら 森永 晃 | 大和高田市立磐園小学校長 | 県小学校長会会長 |

4. 検討事項

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| (1) 検討の進め方とスケジュール | (7) 検査の種類、内容、方法 |
| (2) 制度改正の方向性 | (8) 採点ミス防止策(マークシートの導入) |
| (3) 現行制度の成果と課題 | (9) 多様化する生徒の受入れ(配慮事項) |
| (4) 選抜方法 | (10) 追検査(インフルエンザ等、新型コロナウイルス感染症) |
| (5) 入学者選抜日程 | (11) 全国募集 など |
| (6) 調査書の様式、取扱い | |

(参考) 本県における県立高等学校入学者選抜の変遷について

| 実施年度 | 変更点等 | 選抜の種類 | 配点等 |
|------|--|----------------------|--|
| 昭43 | | 1次選抜(3月) | ・調査書成績150点 学力検査150点 |
| 昭57 | 昭57.12 高等学校入学者選抜制度検討専門委員会設置 | | ・調査書は1・2・3年の成績 |
| 昭61 | | | |
| 平2 | ・分割選抜の一部実施(高円高校芸術科、片桐高校英語科、添上高校体育科) | 分割選抜(2月) 一般選抜(3月) | <一般選抜> ・調査書成績250点 学力検査250点 ・調査書は、2・3年の成績 (2・3年比は1:2) |
| 平5 | 平5.7 奈良県立高等学校入学者選抜改善検討専門委員会設置 | | |
| 平6 | ・分割選抜の拡大実施(18校延べ41学科)[以降も拡大] | | |
| 平9 | ・一般選抜における出願変更(取り下げ、再出願)を廃止 | | |
| 平15 | 平15.7 奈良県立高等学校入学者選抜検討委員会設置 | | |
| 平17 | ・特色選抜の全校実施 ※一部の普通科実施校で、出願者数が募集人員を大幅超過 | | |
| 平22 | 平22.6 奈良県立高等学校入学者特色選抜検証改善委員会設置 | 特色選抜(2月) 一般選抜(3月) | <一般選抜> ・調査書成績135点 学力検査250点 (調査書、検査点の加重可能) ・調査書は、2・3年の成績 (2・3年比は1:2) |
| 平23 | ・特色選抜を、専門学科及び普通科の特色あるコースに限定 | | |
| 令2 | ・コロナ対応の追検査を設定 | | |
| 令3 | 令3.10 奈良県立高等学校入学者選抜制度検討委員会設置 | | |